広尾町まちづくりアンケート
結果報告書

概要版

調査の目的

本町では、豊かで住みよいまちづくりを進めるための指針となる「第５次広尾町まちづくり推進総合計画」を平成 23（2011）年３月に策定し、まちのめざす将来像「海と大地に笑顔と活力があふれる　町民みんなで歩むまち・ひろお」の実現に向けて様々な取組を進めてきました。

本調査は、次期（第６次）の計画策定にあたり、町民と行政の「協働」作業を基本として、将来像を明確に掲げた実現性のある計画づくりの参考とするために、町民の皆様からのご意見をうかがうことを目的に実施したものです。

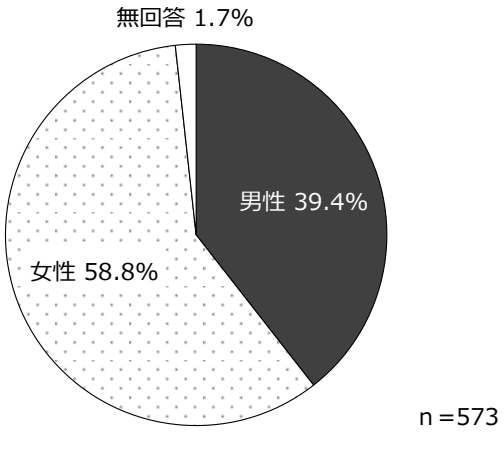
調査の概要

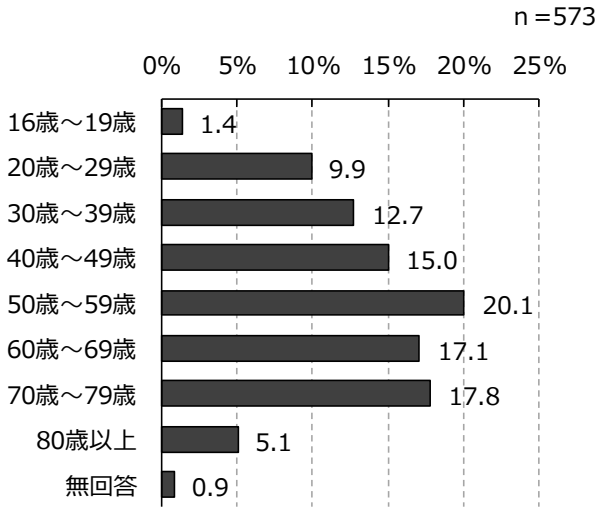
〇調査対象者：町内に居住する満 16 歳以上の町民の方から無作為に抽出した 1,397 人
〇調 査 方 法：郵送配布・郵送回収
〇調 査 期 間：2019（平成 31）年 2 月 16 日～3 月 4 日

配布・回収状況	発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
	1,397 票	573 票	573 票	41.0%

グラフの留意点：原則として回答者の構成比（百分率）で表現し、「ｎ」は構成比算出の母数を示しています。回答者数を 100%として小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、すべての割合の合計が 100%にならないことがあります。複数回答では、すべての割合の合計が 100%を超えることがあります。

回答者の性別･年齢

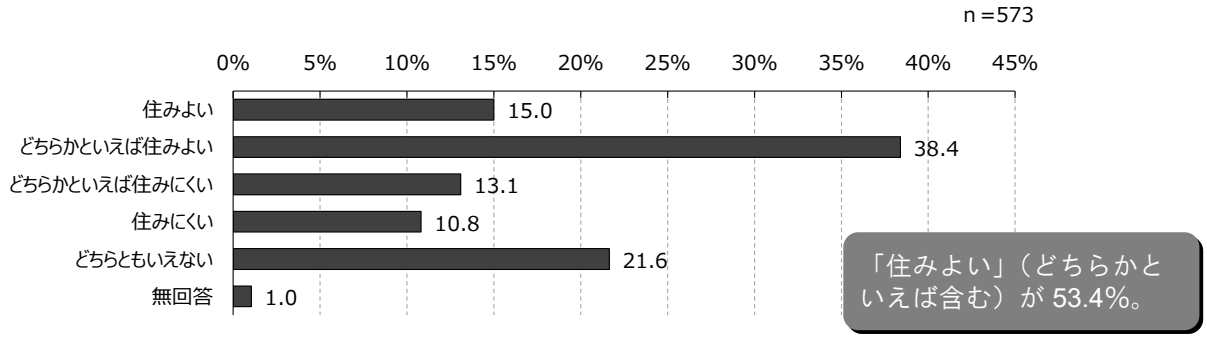




広尾町のまちづくりなどについて

広尾町は住みよいまちだと思うか

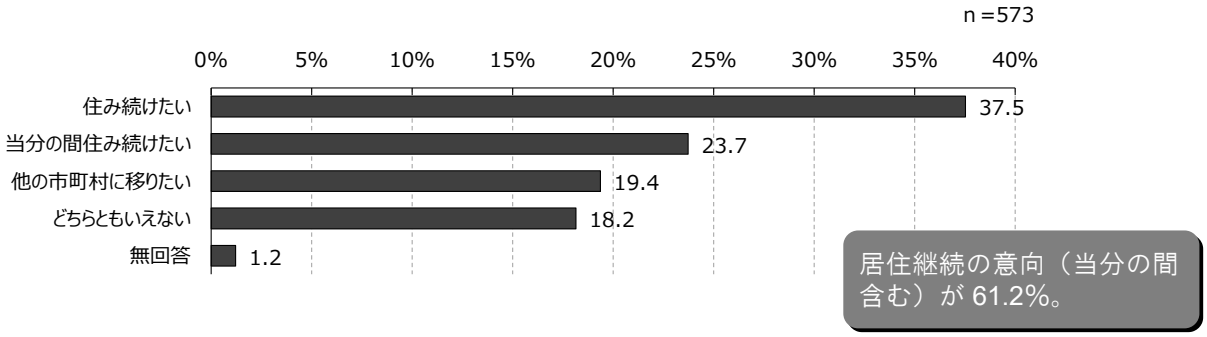
「どちらかといえば住みよい」が 38.4%、「どちらともいえない」が 21.6%、「住みよい」が 15.0%、「どちらかといえば住みにくい」が 13.1%となっています。



「住みよい」（どちらかといえば含む）が 53.4%。

今後も広尾町に住み続けたいと思うか

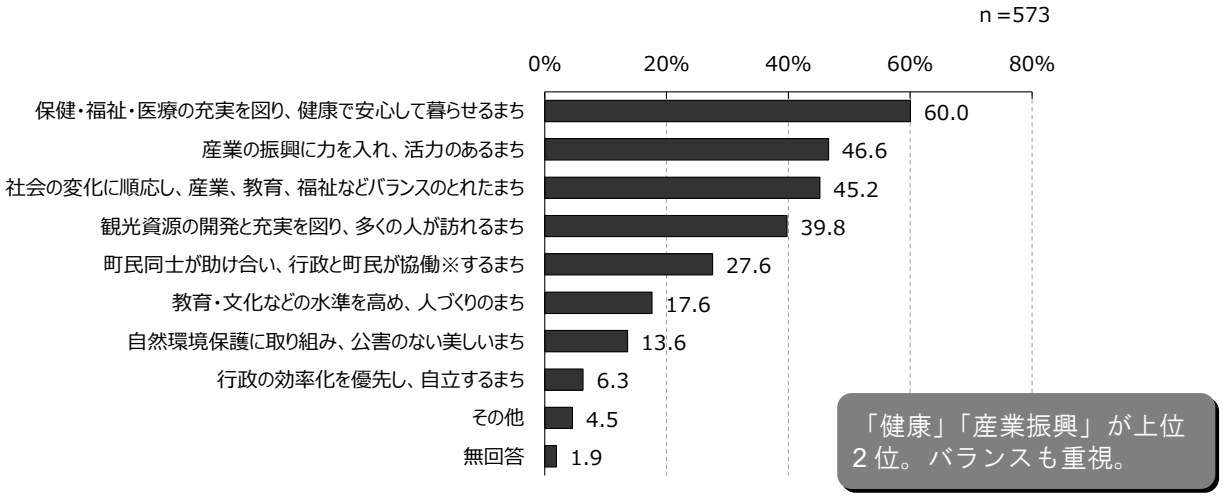
「住み続けたい」が 37.5%、「当分の間住み続けたい」が 23.7%となっています。



居住継続の意向（当分の間含む）が 61.2%。

広尾町の将来に望むこと【複数回答】

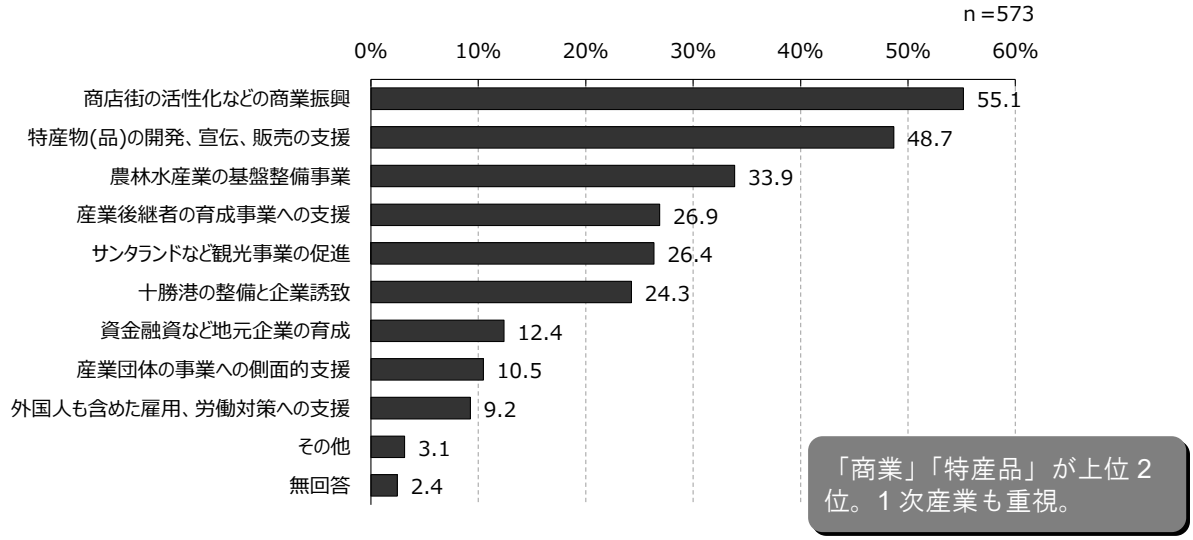
「保健・福祉・医療の充実を図り、健康で安心して暮らせるまち」が 60.0%と最も多く、次いで「産業の振興に力を入れ、活力のあるまち」が 46.6%、「社会の変化に順応し、産業、教育、福祉などバランスのとれたまち」が 45.2%となっています。



「健康」「産業振興」が上位2位。バランスも重視。

今後の「産業振興」について大切だと思うこと【複数回答】

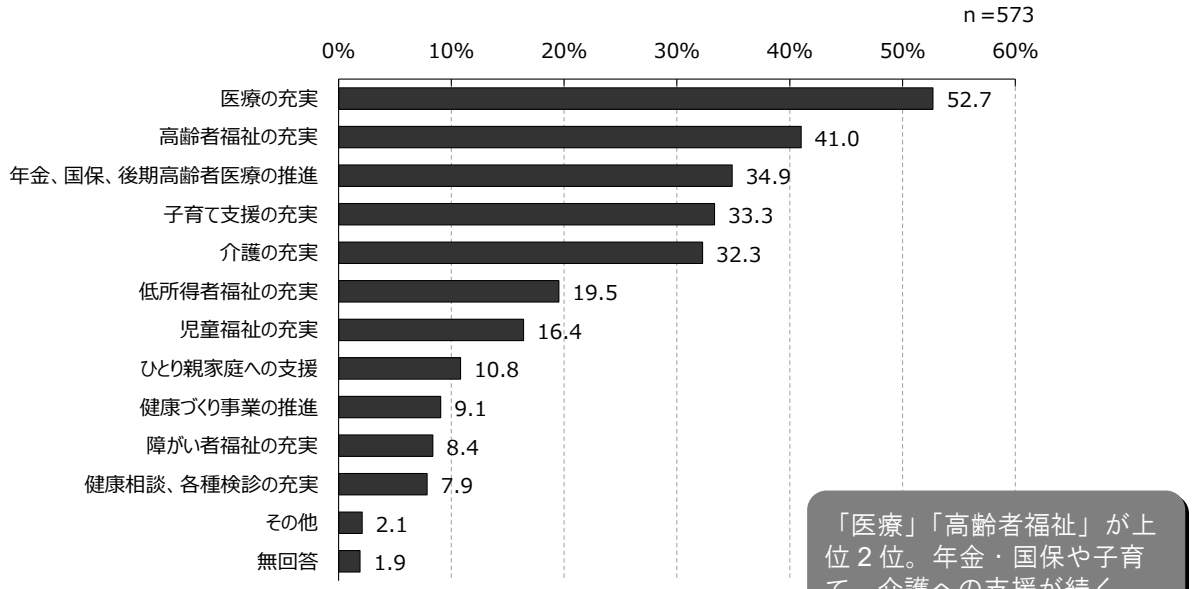
「商店街の活性化などの商業振興」が 55.1%と最も多く、次いで「特産物(品)の開発、宣伝、販売の支援」が 48.7%、「農林水産業の基盤整備事業」が 33.9%、「産業後継者の育成事業への支援」が 26.9%、「サンタランドなど観光事業の促進」が 26.4%となっています。



「商業」「特産品」が上位 2 位。1 次産業も重視。

今後の「保健・福祉・医療」について大切だと思うこと【複数回答】

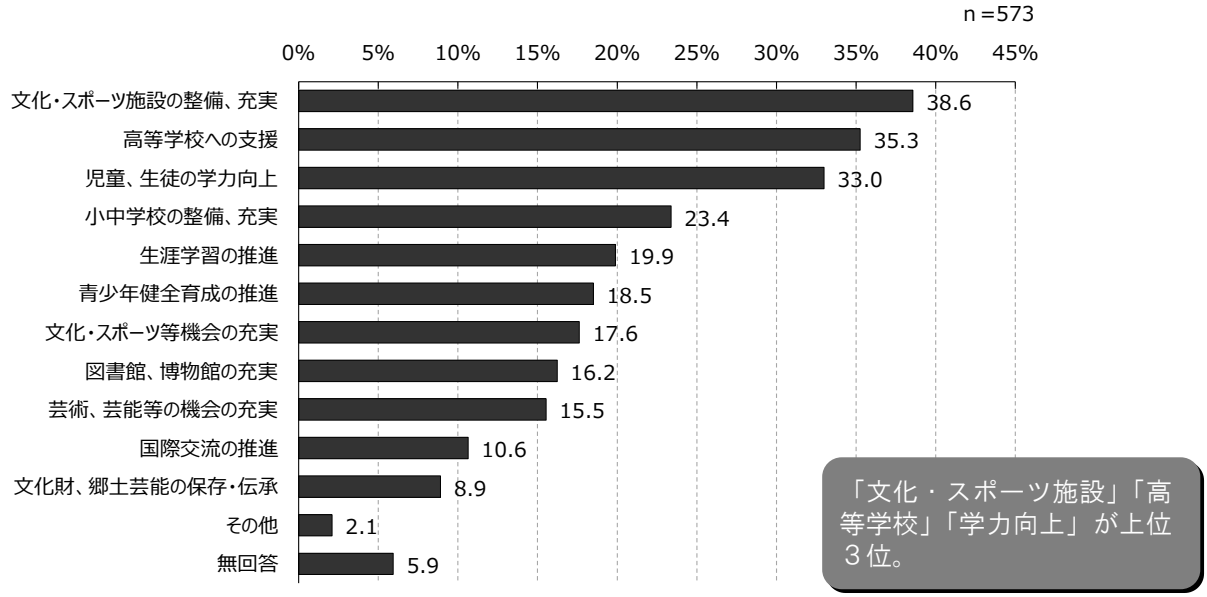
「医療の充実」が 52.7%と最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」が 41.0%、「年金、国保、後期高齢者医療の推進」が 34.9%、「子育て支援の充実」が 33.3%、「介護の充実」が 32.3%となっています。



「医療」「高齢者福祉」が上位 2 位。年金・国保や子育て、介護への支援が続く。

今後の「教育・文化」について大切だと思うこと【複数回答】

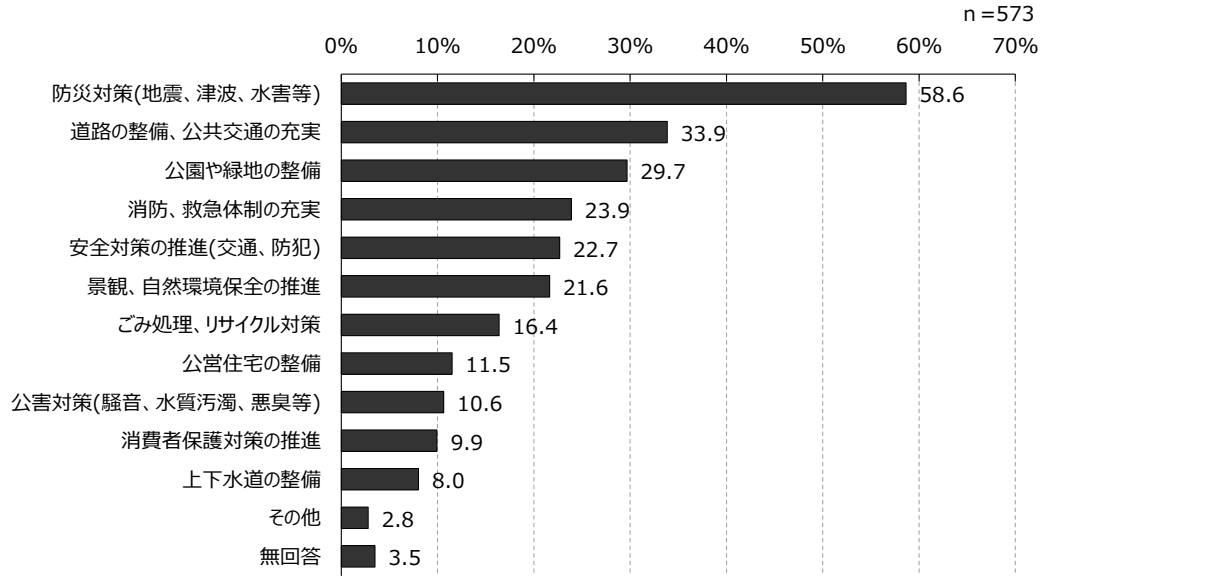
「文化・スポーツ施設の整備、充実」が 38.6%と最も多く、次いで「高等学校への支援」が 35.3%、「児童、生徒の学力向上」が 33.0%、「小中学校の整備、充実」が 23.4%、「生涯学習の推進」が 19.9%となっています。



「文化・スポーツ施設」「高等学校」「学力向上」が上位３位。

今後の「安全・安心」について大切だと思うこと【複数回答】

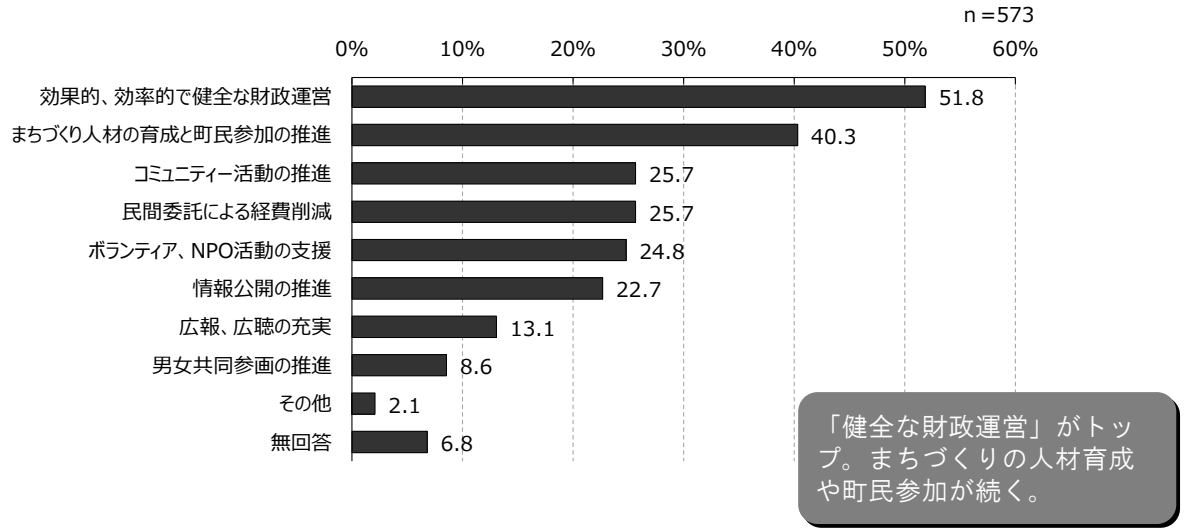
「防災対策(地震、津波、水害等)」が 58.6%と最も多く、次いで「道路の整備、公共交通の充実」が 33.9%、「公園や緑地の整備」が 29.7%、「消防、救急体制の充実」が 23.9%、「安全対策の推進(交通、防犯)」が 22.7%となっています。



「防災対策」がトップ。

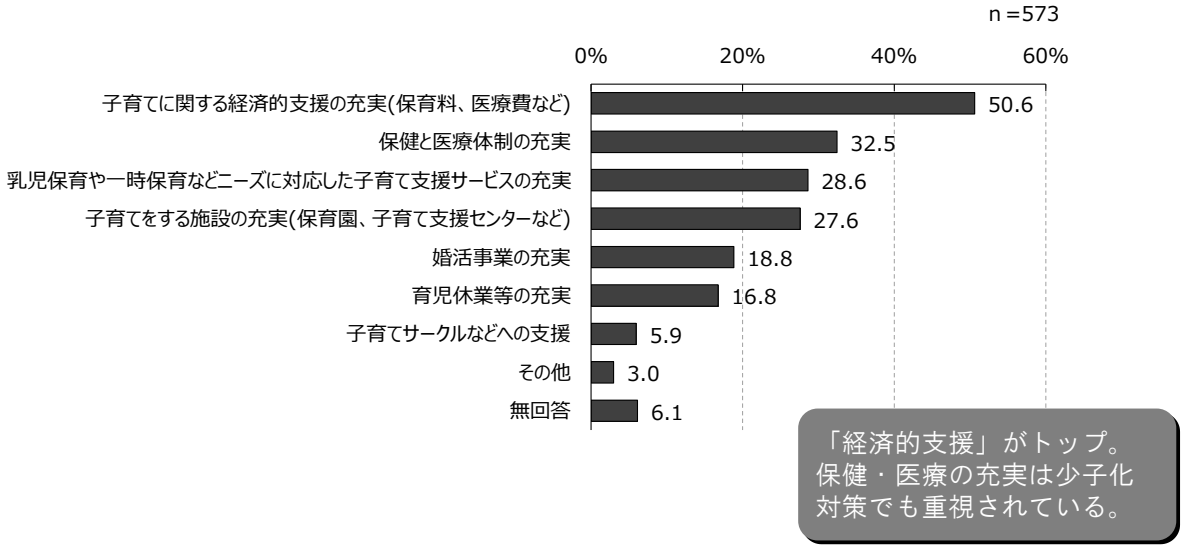
今後の「協働のまちづくり」について大切だと思うこと【複数回答】

「効果的、効率的で健全な財政運営」が 51.8%と最も多く、次いで「まちづくり人材の育成と町民参加の推進」が 40.3%、「コミュニティー活動の推進」及び「民間委託による経費削減」が 25.7%、「ボランティア、NPO 活動の支援」が 24.8%となっています。



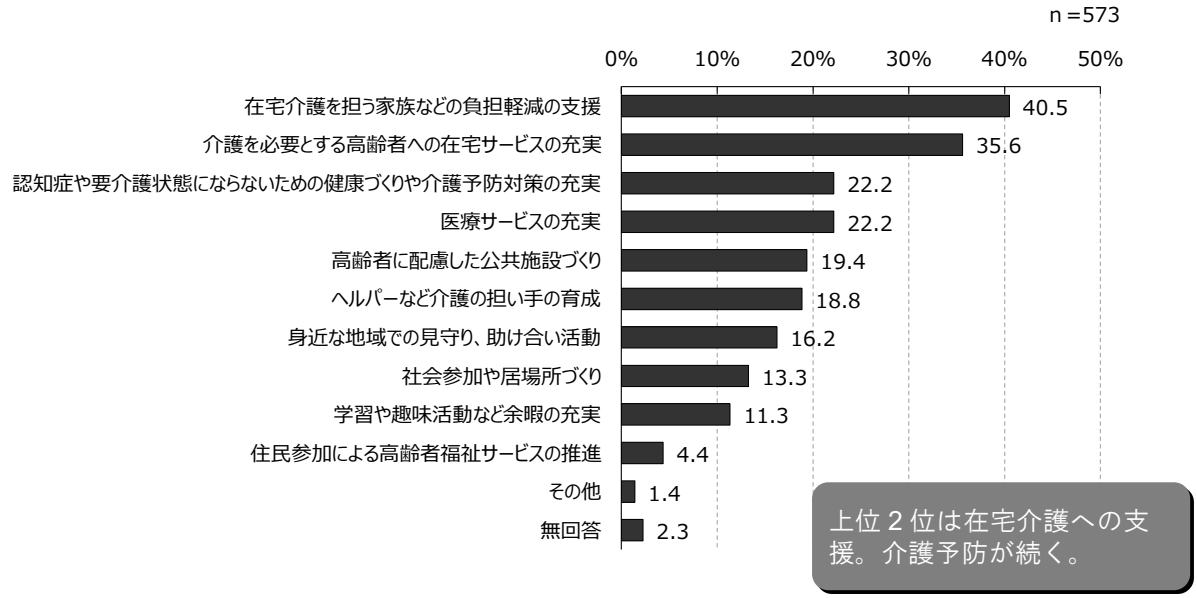
今後の「少子化対策」について大切だと思うこと【複数回答】

「子育てに関する経済的支援の充実(保育料、医療費など)」が 50.6%と最も多く、次いで「保健と医療体制の充実」が 32.5%、「乳児保育や一時保育などニーズに対応した子育て支援サービスの充実」が 28.6%、「子育てをする施設の充実(保育園、子育て支援センターなど)」が 27.6%、「婚活事業の充実」が 18.8%となっています。



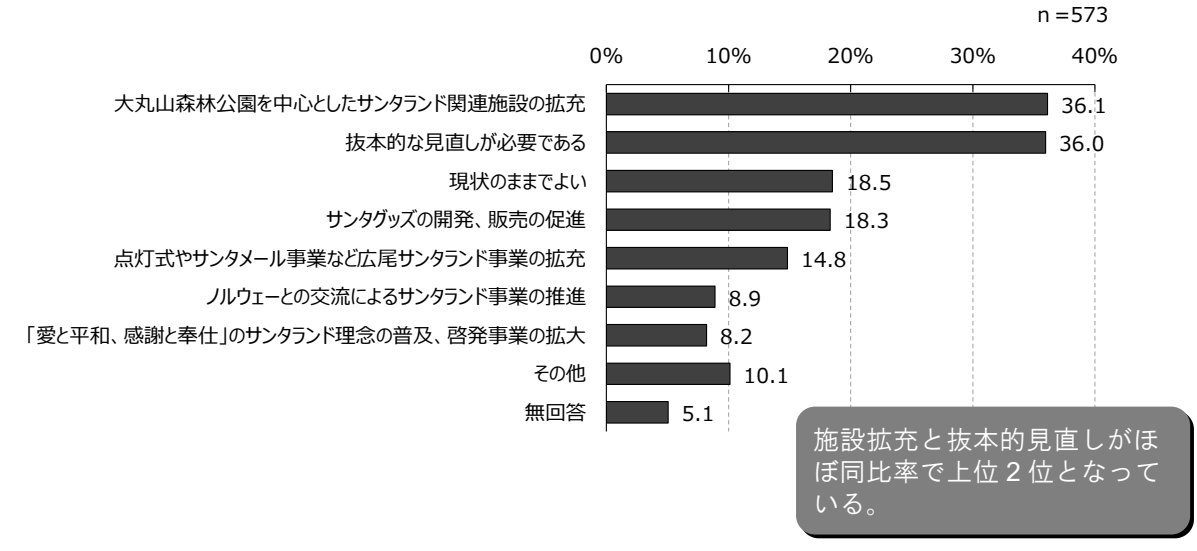
今後の「高齢社会」について大切だと思うこと【複数回答】

「在宅介護を担う家族などの負担軽減の支援」が 40.5%と最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者への在宅サービスの充実」が 35.6%、「認知症や要介護状態にならないための健康づくりや介護予防対策の充実」及び「医療サービスの充実」が 22.2%、「高齢者に配慮した公共施設づくり」が 19.4%となっています。



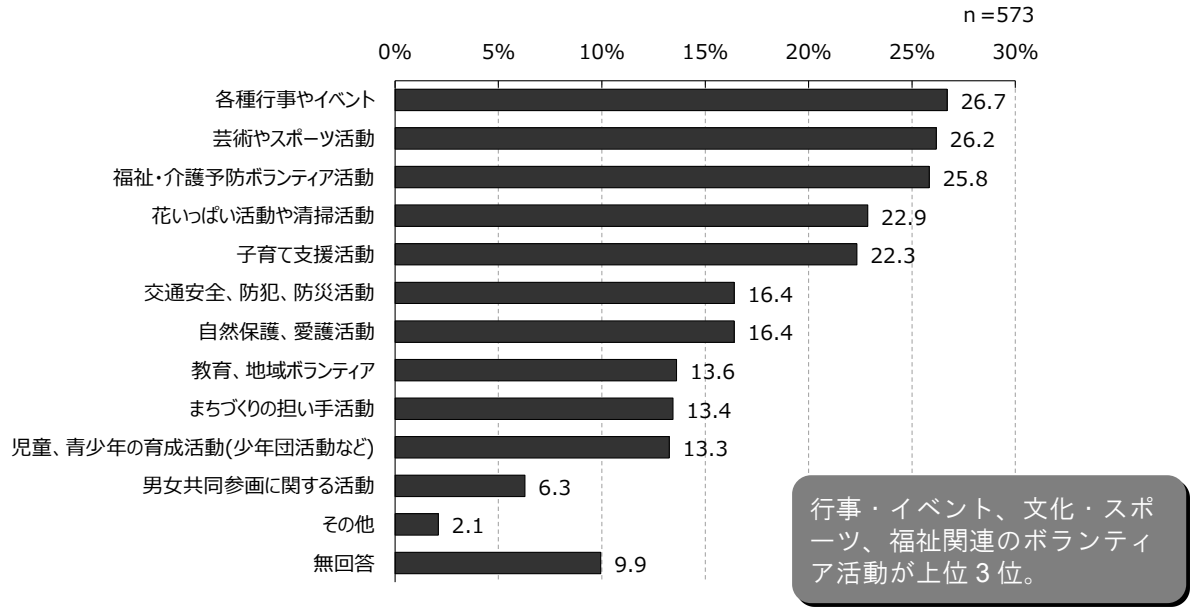
今後の「広尾サンタランドの取組」について大切だと思うこと【複数回答】

「大丸山森林公園を中心としたサンタランド関連施設の拡充」が 36.1%と最も多く、次いで「抜本的な見直しが必要である」が 36.0%、「現状のままでよい」が 18.5%、「サンタグッズの開発、販売の促進」が 18.3%、「点灯式やサンタメール事業など広尾サンタランド事業の拡充」が 14.8%となっています。



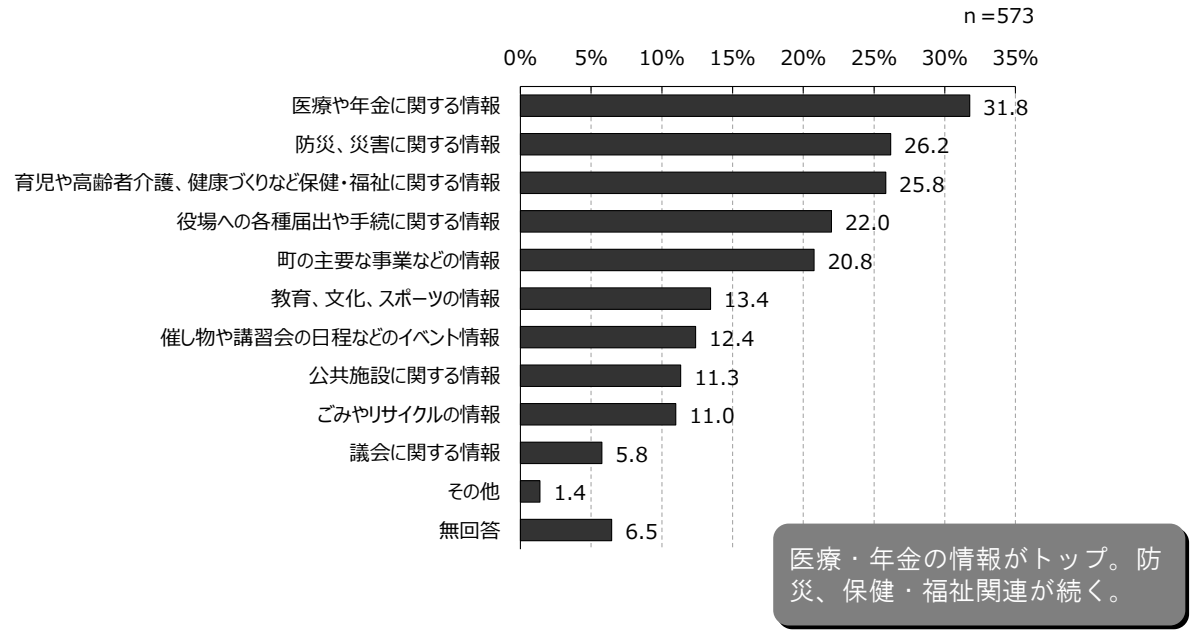
参加してみたい、大切だと思う活動【複数回答】

「各種行事やイベント」が 26.7%と最も多く、次いで「芸術やスポーツ活動」が 26.2%、「福祉・介護予防ボランティア活動」が 25.8%、「花いっぱい活動や清掃活動」が 22.9%、「子育て支援活動」が 22.3%となっています。



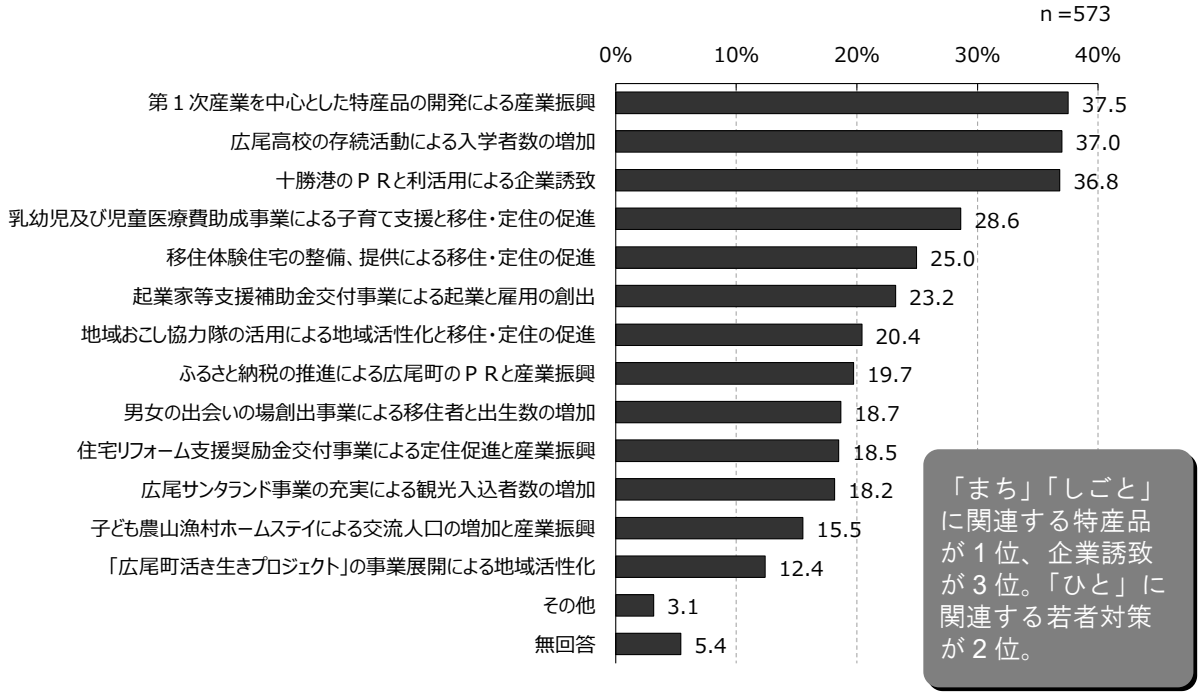
必要と思う情報について【複数回答】

「医療や年金に関する情報」が 31.8%と最も多く、次いで「防災、災害に関する情報」が 26.2%、「育児や高齢者介護、健康づくりなど保健・福祉に関する情報」が 25.8%、「役場への各種届出や手続に関する情報」が 22.0%、「町の主要な事業などの情報」が 20.8%となっています。



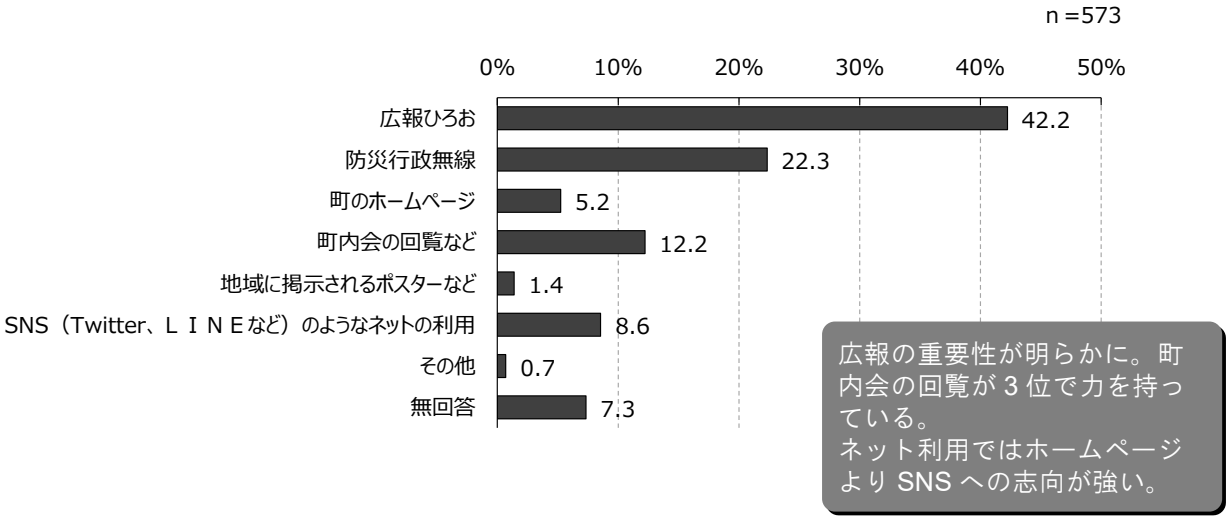
地方創生に向けて、効果的であると思われる事業【複数回答】

「第１次産業を中心とした特産品の開発による産業振興」が 37.5%と最も多く、次いで「広尾高校の存続活動による入学者数の増加」が 37.0%、「十勝港のＰＲと利活用による企業誘致」が 36.8%、「乳幼児及び児童医療費助成事業による子育て支援と移住・定住の促進」が 28.6%、「移住体験住宅の整備、提供による移住・定住の促進」が 25.0%となっています。



町政や地域に関する情報を伝える方法として、重視(充実)すべきだと思うこと

「広報ひろお」が 42.2%と最も多く、次いで「防災行政無線」が 22.3%、「町内会の回覧など」が 12.2%、「SNS（Twitter、ＬＩＮＥなど）のようなネットの利用」が 8.6%、「町のホームページ」が 5.2%となっています。



2019（平成 31）年３月
発行：広尾町　企画課　　電話：01558-2-2111（代表）